

2017生態工学会 年次大会プログラム

平成29年6月23日(金)~24日(土)

2017年6月23日(金) [研究発表セッション(口頭)、年次総会、表彰式、特別講演会、部門研究会、懇親会]

8:00 参加登録開始 (楽水会館ホワイエ)

8:50-9:00 開会の挨拶 2017 生態工学会年次大会 大会委員長 竹内俊郎(東京海洋大学)

■ 口頭発表 (大会議室)

● セッション1 [ネットワーク解析、リモートセンシング、宇宙実験・利用] 座長: 中根昌克 (日本大学)

9:00- 9:15 01 濃度と流束の感度の相互関係に基づく代謝反応ネットワークの特性解析

○桑門(宮脇)温子、白石文秀(九州大学大学院農学研究院)

9:15- 9:30 02 SLAMによる樹木群落構造計測の検討

○潘 洋、郭 冠霆、細井文樹(東大院農学生命科学)

9:30- 9:45 03 手持ちおよび車載された LIDAR を用いた樹幹直径の推定に関する研究

○板倉健太、鎌倉以直、細井文樹(東京大学大学院農学生命科学研究科)

9:45-10:00 04 微小重力対応型酸素製造装置の研究

○桜井誠人、寺尾卓真、島 明日香(JAXA)

10:00-10:15 05 SpaceX マーズ・アーキテクチャーの生命維持システムトレードスタディ

○宮嶋宏行(国際医療福祉大)

10:15-10:30 06 宇宙環境における樹木成分利用の可能性

○富田-横谷香織、味岡令子、木村駿太(筑波大学)、加藤 浩(三重大学)、
鈴木利貞、片山健至(香川大学)

10:30-10:45

休憩

● セッション2 [自然浄化法、閉鎖系システム、自然エネルギー利用] 座長: 遠藤良輔(大阪府立大学)

10:45-11:00 07 観葉植物による大気中フェノールとベンジルアルコールの吸収能力の評価

○小池萌恵子、望月智貴、谷 晃(静岡県大)

11:00-11:15 08 農産物の鮮度保持を目的とするエチレン分解装置の検討

○岩永征士、古藤俊昭、田之上祐太、白石文秀(九州大学大学院農学研究院)

11:15-11:30 09 潜熱蓄熱材を利用したカンキツ栽培ハウスの省エネルギー温度管理に関する研究

○三好悠太(量研機構量子ビーム)、矢野 拓、松原公明、下岡 萌(大分県)、
小春 修(JAおおいた)、矢野直達(ヤノ技研)、安武大輔、北野雅治(九大院農学研究院)

11:30-11:45 10 営農型太陽光発電を踏まえた遮光下での水稻栽培の実証

○吉野航太、吉田好邦、土肥哲哉(東京大)、塩原太郎(スマートブルー)、谷 晃(静岡県大)

11:45-12:00 11 太陽光発電利用型 EV 充電ステーションの運用状況

○蘆原昌司、安藤泰雅(農研機構食品部門)、石井雅久、奥島里美(農研機構農村工学部門)

12:00-13:00

お昼休み/各種委員会(編集委員会 楽水会館2階 小会議室)

■ 年次総会・学会賞表彰式

13:00-13:45 年次総会(大会議室)

13:45-13:55

休憩

13:55-14:15 学会賞表彰式

14:15-14:30

休憩

■ 一般公開特別講演会「海洋環境、海洋資源・エネルギーの現状と未来」

14:30-17:00

司会: 年次大会実行委員長 遠藤雅人 (東京海洋大学)

講演 海洋資源環境学部が目指す海洋環境研究の未来

東京海洋大学副学長(大学改革担当)、海洋環境科学部門教授 神田穰太

講演 地下を見る目

東京海洋大学 海洋資源エネルギー学部門教授 鶴 哲郎

講演 実証研究から見る日本の洋上風力発電の現状と未来

東京海洋大学 海洋資源エネルギー学部門教授 池谷 毅

17:00-17:10

休憩

■ 宇宙生命維持技術研究部門研究会

17:10-17:50

講演 宇宙食の現状

宇宙航空研究開発機構 有人宇宙技術部門 宇宙飛行士・運用管制ユニット
宇宙飛行士健康管理グループ 野上和真

17:50-18:00

休憩・移動

■ 懇親会 (於:大学会館生協食堂)

18:00-19:30

6月24日(土) [研究発表セッション(口頭、ポスター、オーガナイズドセッション)、講演論文賞表彰式]

8:30 参加登録開始(楽水会館ホワイエ)

■口頭発表(大会議室)

●セッション3 [生体情報、環境保全・修復、バイオマス利用]

座長: 増田篤稔(玉川大学)

9:00- 9:15 12 成長促進が誘導される酸化および低温処理時におけるリーフレタスのストレス応答の比較

○森 直哉(玉川大・学術)、渡邊博之(玉川大・農)

9:15- 9:30 13 ラン科植物ネジバナと菌根菌の生長過程における生存戦略

○加藤木ひとみ、藤森祥平、富田一横谷香織(筑波大学)

9:30- 9:45 14 陸棲藍藻 *Nostoc* sp. HK-01 の細胞保護に関わる適合溶質

○木村駿太(筑波大学・日本学術振興会)、市川創作、富田一横谷香織(筑波大学)

9:45-10:00 15 陸棲藍藻の培養技術の考察

○加藤 浩(三重大学)、木村駿太(筑波大学・日本学術振興会)、富田一横谷香織(筑波大学)

10:00-10:15 16 家畜排泄物の藻類および菌類による再資源化

○皆川秀夫、萩谷勇一郎、米山麻優、井野 遙、米野高宏、田中勝千(北里大学獣医学部)、土肥哲哉(日本有機資源協会)

10:15-10:30

休憩

■ポスターセッション(大会議室・ホワイエ)

10:30-12:00 (コアタイム)

P01 都市近郊林における蓄雨と気温緩和効果に関する研究

○武田美恵(愛知工業大学)

P02 竹炭製造コスト低減を可能にする半開放型可搬式炭化炉の開発(第2報)

○篠崎正利、渡辺雅樹、福島 巖、本多信一(K-BETS)、鹿嶋與一(竹もりの里)、西澤真実(いすみ竹炭研究会)

P03 植物の生存戦略とフィボナッチ数—ホウセンカ、ハボタン、ミニトマトでの実験観察—

○白井風雅(柏市立豊小学校)、白井 睦(東京医科大学茨医セ共同研究センター)、村松 晋(生態工学研究機構)

P04 クルーの加速度制約を考慮した有人宇宙カプセルの軌道解析

○百瀬和彦(日本大学)、藤本圭一郎(JAXA)、中根昌克(日本大学)

P05 陸棲藍藻 *Nostoc* sp. HK-01 の細胞形態、重量及び細胞数

○オン 碧、木村駿太(筑波大学・学術振興会)、加藤 浩(三重大学)、富田一横谷香織(筑波大学)

P06 擬似微小重力環境におけるトマトの生長と光環境の関係

○高瀬由杏(國學院高等学校)

P07 光触媒によるエチレン分解のための触媒調製条件の検討

○古藤俊昭、岩永征士、田之上祐太、白石文秀(九州大学大学院農学研究院)

P08 栽培環境の違いが香味菜の生育および抗酸化性に与える影響

○津田優樹、田村匡嗣、齋藤高弘、房 相佑(宇都宮大学)、星 佳宏(栃木県産業技術センター)

P09 CO₂吸脱着装置における脱着温度差によるCO₂とH₂O分離の実証とシステム検討

○宇治田 祥、柳尾朋洋(早稲田大学)、桜井誠人(JAXA)

P11 酸素タンクの配置の違いによる酸素供給の可用性解析

○山口誠二(日本大学大学院)、中根昌克(日本大学)

P12 ドジョウとレタスを組み合わせたアクアポニックスの試行

○和田光生、北宅善昭(大阪府大)、中村謙治(エスペックミック)、西口正幸(大和真空)、後戸文春(和歌山共和水産)

P13 ナノバブル水がレタスの生育に与える影響

○長村和彦(玉川大院)、森直哉(玉川大・学術)、渡邊博之(玉川大院)

P14 養液栽培における培養液中の重炭酸イオンがミニトマトの生育に及ぼす影響

○新井健太、森山範昭、中林和重(明治大)

- P15 養液栽培における培地の違いがミニトマトの生育に及ぼす影響**
○曾根浩子、本田拓也、中林和重、伊藤 駿(明治大学農学部)
- P16 サンゴ砂礫培地使用苗の土壌栽培への適用**
○中林和重、栗田大希、田中美葉(明治大学農学部)
- P17 養液栽培におけるサンゴ砂礫培地とココヤシ培地の違いが保蔵後のミニトマト品質に与える影響**
○海老瀬雄斗、中林和重(明治大学農学部)
- P18 サンゴ砂礫栽培における培養液濃度の違いがミニトマトの生育に及ぼす影響**
○藤田美季、岡島紗矢、中林和重(明治大学農学部)
- P19 サンゴ砂礫栽培における培養液組成の違いがミニトマトの果実成分に及ぼす影響**
○岡島紗矢、藤田美季、中林和重(明治大学農学部)
- P20 常総市洪水跡地の土耕栽培ハウスにおける養液栽培法の適用**
中林和重、○森山範昭、伊藤 駿(明治大学)
- P21 生体電位による貧栄養検知手法を用いたソバの生育支援**
○藤田汐美、中林和重、田中美葉(明治大学農学部)
- P22 米飯調理後の保存条件とデンプン消化性の関係**
○田村匡嗣(宇都宮大学)、小川幸春(千葉大学)
- P23 乾燥方法の違いがホップの成分変化に及ぼす影響**
○井上大悟、田村匡嗣、齋藤高弘(宇都宮大)、岡本竹己(栃木県産業技術センター)、
山下 創(株式会社ファーマーズ・フォレスト)
- P24 植物系有機残渣の嫌気性消化における様々なメタン生成推定モデルの検証**
○遠藤良輔、福嶋志隆(大阪府大)

12:00-13:00

お昼休み/各種委員会(若手の会 楽水会館2階 小会議室)

■ オーガナイズドセッション(大会議室)

「乾燥地に適応した水産養殖と農業の結合システムの開発

ーメキシコ南バハカリフォルニア州における持続的食料生産のためにー」

オーガナイザー: 山田 智、馬場貴志 (鳥取大学)、遠藤雅人 (東京海洋大学)

13:00-14:30

座長: 山田 智 (鳥取大学)

乾燥地における複合型食料生産のための塩水の多段利用を目的とした水産養殖システムの構築に関する研究

○遠藤雅人(東京海洋大学)、SATREPS 養殖チーム(海洋大、メキシコ北西部生物学研究センター)、
マガジョン-バラハス J. フランシスコ (メキシコ北西部生物学研究センター)

乾燥地における複合型食料生産のための塩水の多段利用を目的とした作物生産システムの構築に関する研究

蕪木絵実、藤山英保、○山田 智(鳥取大)、SATREPS 作物栽培チーム(鳥取大、メキシコ北西部生物
学研究センター)、ムリージョ-アマドール ベルナルド(メキシコ北西部生物学研究センター)

土層構造の異なる農地における灌水処理とアパネロの水利用効率との関係

○猪迫耕二(鳥取大学)、宮川 卓(静岡大学大学院)、齋藤忠臣(鳥取大学)、
トロヨ エンリケ(メキシコ北西部生物学研究センター)

乾燥地における露地栽培結合型アクアポニックスの電力供給システムに関する研究

○田川公太郎、白音巴特尔(鳥取大)、ホアキン グティエレス、
ホアン マンドアーノ(メキシコ北西部生物学研究センター)

露地栽培結合型アクアポニックスシステムにおける微生物動態解析

○馬場貴志(鳥取大学)、オルギン-ペニア R. ハイメ(メキシコ北西部生物学研究センター)

14:30-14:45

休憩

■ 講演論文賞表彰式 (大会議室)

14:45-15:00 表彰式

15:00-15:05 閉会の挨拶

2017 生態工学会年次大会実行委員長 遠藤雅人 (東京海洋大学)